

# セメント・コンクリート技術の最近の動き —サステイナブルな社会資本整備のために—

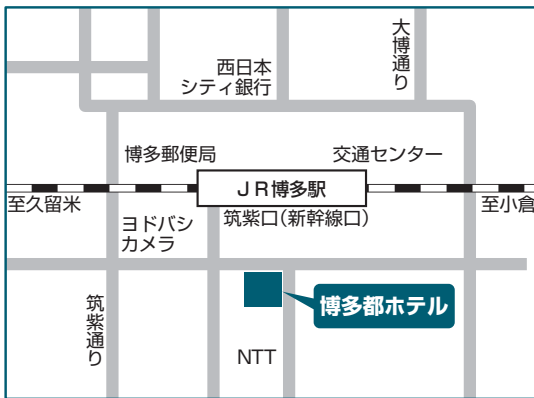
**主催** 社団法人セメント協会

**後援**

国土交通省九州地方整備局  
 (社)土木学会西部支部  
 (社)日本建築学会九州支部  
 (社)日本土木工業協会九州支部  
 (社)建設コンサルタンツ協会九州支部  
 (社)日本コンクリート工学協会九州支部  
 (社)九州橋梁・構造工学研究会  
 全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部

- **日時** 2010年2月23日(火) 9:50 ~ 17:00
  - **場所** 博多都ホテル 3階・孔雀の間  
 [〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-1-1]
  - **定員** 150名(定員になり次第締切らせていただきます)
  - **受講料** 1名当たり 10,000円(テキスト代を含みます)
  - **申込先** 受講ご希望の方は、2010年2月16日(火)までに、
    - ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXで下記へお申込ください。
    - ② 受講料は、「郵便振替」(加入者名):社団法人セメント協会、口座番号:00170-9-196803)で下記宛お振込みください。
 ①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストと受講料の請求書をご郵送致しますので、お振込みください。  
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-4  
 社団法人セメント協会 普及部門  
 TEL:03-3523-2705 FAX:03-3523-2700
- 本セミナーは「土木学会認定CPDプログラム」です。

【会場案内図】



●JR博多駅より徒歩1分 ●福岡空港より地下鉄5分

**講演**

**1** 9:50 ~ 11:00  
**コンクリートの耐久性(塩害、ASR)と最新の補修・補強技術**  
 コンクリート構造物の耐久性に係わる劣化現象としては、塩害とアルカリシリカ反応が重要であり、これらの劣化が発生したコンクリート構造物の維持管理に関連して、補修・補強技術の開発が緊急を要する課題となっている。本セミナーでは、塩害、ASRによる劣化事例と補修・補強技術について紹介する。  
 キーワード: 塩害、飛来塩分、凍結防止剤、鋼材腐食、アルカリシリカ反応、電気防食、モニタリング技術  
 金沢大学理工研究域環境デザイン学系 教授 鳥居和之氏

**2** 11:10 ~ 12:20  
**”ムダ”と言わせないコンクリート構造物を目指して**  
 コンクリート構造物は人々の生活を支える貴重な社会資本である。したがって、公共性を備えかつ長寿命でなければならない。しかし、現代社会においてはそれだけでは足りず、さらに美しさも求められる。本セミナーでは、最初にコンクリート構造物長寿命化を目指した九州指針の概要を紹介する。また、広く愛されるために構造物が持つべき美しさについて考えてみたい。さらに、”ムダ”と言わせないためには何が必要なのかについても考えてみたい。  
 キーワード: ライフサイクル、長寿命、グランドデザイン、九州指針  
 九州大学工学研究院建設デザイン部門 教授 濱田秀則氏

**3** 13:10 ~ 14:20  
**総合評価発注方式の動向とコンクリート技術の課題と対応**  
 総合評価発注方式は予定価格の範囲内で最も優れた技術提案を選定すべく、国土交通省や地方自治体で「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の施行に併せて幅広く実施されている。施工者は望まれる技術情報を欲するが、求める事項を情報公開することは公正な評価選定を図る趣旨に反することにもなる。そこで、品質確保を図るため、コンクリート技術をどのように施工技術として対応させるかに関して、一例を示したい。  
 キーワード: 品質確保、総合評価発注、技術提案、コンクリート構造物、コンクリート技術  
 (株)ティーネットジャパン CS事業本部 技師長 牛島 栄氏

**4** 14:30 ~ 15:40  
**鉄筋コンクリート造建築物に生じる収縮ひび割れの予測と制御の現状**  
 鉄筋コンクリート造建築物に生じる収縮ひび割れには耐久性の低下や瑕疵問題との絡みで多くの関心が寄せられている。本セミナーでは、JASS5に示される収縮ひび割れの規定値を満足させるための材料選定・調合設計について説明するとともに、収縮ひび割れ発生予測システムと制御技術について紹介する。  
 キーワード: 乾燥収縮ひび割れ、予測と制御、100年住宅、有害なひび割れ幅、瑕疵  
 大分大学工学部福祉環境工学科 教授 佐藤嘉昭氏

**5** 15:50 ~ 17:00  
**土木構造物のひび割れ制御のための新技術・新情報**  
 建設投資が縮減される中、構造物には長期供用に耐えるのみならず、仕上がり良さや使用性などの多面的な性能が求められている。初期ひび割れは、美観に劣るだけでなく、耐久性をも懸念され、工事成績として評価され、技術力を問われることで受注競争にも影響を及ぼす。そこで、主として土木構造物に生じやすい温度ひび割れの抑制対策について、最新の情報を提供する。  
 キーワード: 温度応力、ひび割れ抑制対策、材料選定、配合設計、施工技術  
 (株)大林組 理事 技術研究所 副所長 十河茂幸氏  
 (社)日本鉄筋継手協会 理事、(社)日本コンクリート工学協会 コンクリート収縮問題検討委員会 委員長

**第299回コンクリートセミナー受講申込書**

●セメント協会普及部門宛(FAX. 03-3523-2700)にお送りください。

申込日 月 日  
 勤務先 TEL. - -  
 FAX. - -

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品  
混和剤 学校 セメント その他( )

住所 〒

受講者(連名可)

●業者は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。

受講券在中

□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

●勤務先等も必ずご記入ください。